

西諸生コン組合が防犯ブザーを寄贈

2月19日、西諸地区生コンクリート事業協同組合（西村賢一理事長）から防犯ブザー450個が寄贈されました。寄贈した菅健志副理事長は「今後も地域と密着した活動に取り組んでいきたい」とあいさつしました。



三松中男女ハンド部が全国に挑む

2月20日、三松中男女ハンド部が全国大会出場を前に市長を訪問しました。同部は1月に行われた県大会で見事優勝。選手は「走力を生かして精一杯頑張りたい」と大会への意気込みを語りました。



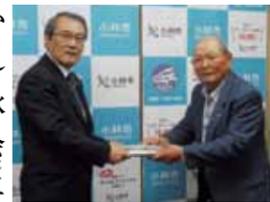
ジュニアマーチングバンド 小林 J M B 全国大会で優秀賞

2月28日、全国大会で優秀賞を受賞した小林ジュニアマーチングバンドが市長を表敬訪問しました。福元果麟さんが代表し、大会の様相を報告。小林 J M B は発足13年目で、メンバーを随時募集中です。



ほりとしあき 堀利秋さんが市へ100万円を寄附

3月1日、堀利秋さんから市へ100万円が寄付されました。この寄附は、利秋さんら兄弟5人が、市議会議員などを歴任した父敬二さんの遺言を受けて行ったもの。寄附金は、三松小の図書と、三松中の楽器の購入に活用されます。



消防団9分団4部詰所が完成

3月3日、消防団9分団4部の詰所が完成し、落成式が行われました。同部は野尻町東麓を管轄。野口健史部長は「野尻地区の守りの要として、今後も住民の安心安全に精励します」と決意を新たにしていました。



内村大介学校長が一人一人に卒業証書を手渡し、「これまでの努力と研さんをたたえたい」と卒業生に伝えました。

地域医療の担い手として期待 准看護学校で卒業式

3月5日、一般社団法人西諸医師会立小林准看護学校で卒業式が行われました。9人の生徒が看護師としての決意を胸に、親しんだ学舎に別れ。卒業生を代表して、岩下恵さんが「学校で学んだ誇りを胸に、人の命を預かることの責任を自覚し、看護の道を進みたい」と決意を述べました。



「あなたの笑顔があるから、大切な人たちも笑顔でいられる。かけがえのない人生のために忘れないで」と話した己抄呼さん

「人は生まれ持った健康があるが、自身の生活習慣を見直し、体を動かすことが重要」と話したおたわさん

健康フェスティバルで 心と体の健康を学ぶ

3月20日、こばやし健康フェスティバル2013が文化会館で開催されました。講演には、全国的に活躍する健康アーティストの己抄呼さんと、内科医で作家のおたわ史絵さんが登壇。ユーモアあふれる話と体操などで、来場者を沸かせ、心と体の健康について講演しました。

宮崎牛の将来を考える 小林市畜産振興大会2013

2月28日、文化会館で小林市畜産振興大会2013が開催されました。基調講演では、農林水産省生産局の原田英男畜産部長が登壇。原田部長は「ブランドをつくり維持するには農家のさらなる連携が必要。買い手がどういう肉を求めているかを生産者が知ることも重要」と話しました。



「宮崎は観光県であり畜産県。景観も含めて観て食べて楽しめる取り組みがあれば発展するのでは」と提案した原田部長

「愛」・「夢」・「絆」・「命」をテーマに 学校・家庭・地域の教育フォーラム

3月10日、文化会館で学校・家庭・地域の教育フォーラムが開催されました。愛がテーマの第1部は、善行青少年の表彰、青少年の主張、わけもん（わけもん）の主張や一地区一形運動の実践発表が行われました。夢がテーマの第2部は、コスモス保育園の園児による音読や合奏、紙屋小の城攻め踊りや三松中生徒の発表がありました。絆がテーマの第3部では、家族の作文を見聞・生徒が発表。また、須木小、須木中、細野小と細野中の家庭教育学級の熱心な取り組みが紹介されました。命がテーマの第4部は「こばやし発はしれ!!ぞうれっしゃ」を上演。青年団を中心に子どもから大人まで、総勢約200人が平和や命の尊さを唄いあげフィナーレ。会場を温かい感情が包み込みました。



授業を受けた皆越昇久さんは「あいさつや礼儀作法など、とても勉強になった」とメダリストの言葉に感動していました。

野尻中で柔道五輪メダリストの 大迫明伸さんが体育の授業

2月19日、野尻中にソウルオリンピックの柔道競技で銅メダルに輝いた旧野尻町出身の大迫明伸さんが講師として訪問しました。大迫さんは、2年生51人を対象に柔道の基礎から分かりやすく説明。その後、大迫さんが自身のことを話し「皆さんには可能性がある。目標に向かって努力することが大事」と生徒を激励しました。



青少年の主張

家庭教育学級の発表

城攻め踊り



こばやし発はしれ!!ぞうれっしゃ